

提出済み要望書 2015 年度⑥(憲法・平和両委員会提案)2015 年 5 月 13 日

内閣総理大臣安倍晋三、公明党代表山口那津男宛

抗議電報 (レタックス)

戦争という「いつか来た道」をたどる

安保法制案の与党協議決定に抗議し撤回を求めます

国際婦人年連絡会 世話人 山口みつ子
實生 律子
紙谷 雅子

私たちは平和憲法のもとで、日本が戦争という「いつか来た道」をたどらないよう政府の動きを注視してきました。5月11日に与党協議決定された新たな安全保障法制に関する一連の法案は、集団的自衛権行使の憲法解釈を変更してアメリカなどが起こすいかなる戦争にいつでも自衛隊が参加して戦争することを可能にし、憲法前文と9条の平和原則を踏みにじるもので、看過できません。しかも安倍首相が、国会に提出すらしていない安保法制の成立を米国議会での演説で約束したことは、日本国憲法の平和原則を根底から覆し、国民主権と民主主義を破壊するものであり、許容できません。与党協議決定に怒りをもって強く抗議し、その撤回と、閣議決定をしないことを要求します。